

## 理事長のごあいさつ

### 新年度のご挨拶



理事長：中川原 章  
(なかがわら あきら)

やや涼しい五分咲きの桜の中で、平成29年の新年度が始まりました。

4月1日付けで、医師68名、看護師43名、その他31名の総勢142名の皆さんを新たに迎え、私ども好生館職員一同、大変嬉しい限りです。これらの新しい仲間と共に、地域社会の中で好生館を温かく支えてくださっている皆様方に、常に良質でより価値の高い医療を提供できるよう、今後も精進していく所存ですのでよろしくお願い致します。

また、同日付けで新館長に兒玉謙次氏が就任しました。

兒玉館長は、九州大学病院手術部准教授を経て、平成20年7月に当時の佐賀県立病院好生館へ副館長として招聘され、平成

22年4月の地方独立行政法人化と平成25年5月の好生館全面移転新築において、主導的役割を果たしました。安心・安全な医療、職場環境の改善、人材育成の推進などを基軸に、好生館の改革に邁進する決意を表しています。職員はもとより、外部の行政及び医療関係者の皆様方のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

さらに、今年度は好生館にとって大変重要な一年となります。これまでの健全な経営を維持するだけでなく、第二期中期計画の最終年度として、数々の大きな改革や問題解決を成し遂げなければならないからです。それには、第二期中期計画の最大課題である人事評価制度の実施、新専門医制度と深く関係する総合診療および救急医療体制の改革、懸案の駐車場問題、第三期中期計画の策定、臨床試験体制の確立などが入っています。

今年度も、県民の皆様のご期待を胸に、職員一同しっかりと歩んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

平成29年4月